

# 廃棄物（ごみ）に関するアンケート調査

令和5年8月 山梨県環境・エネルギー部環境整備課

県民の廃棄物（ごみ）に対する考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

## 1 アンケート調査の実施期間

令和5年8月

## 2 県政モニター数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	195人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	254人
		<b>合計 449人</b>

## 3 回答数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	162人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	182人
		<b>合計 344人</b>

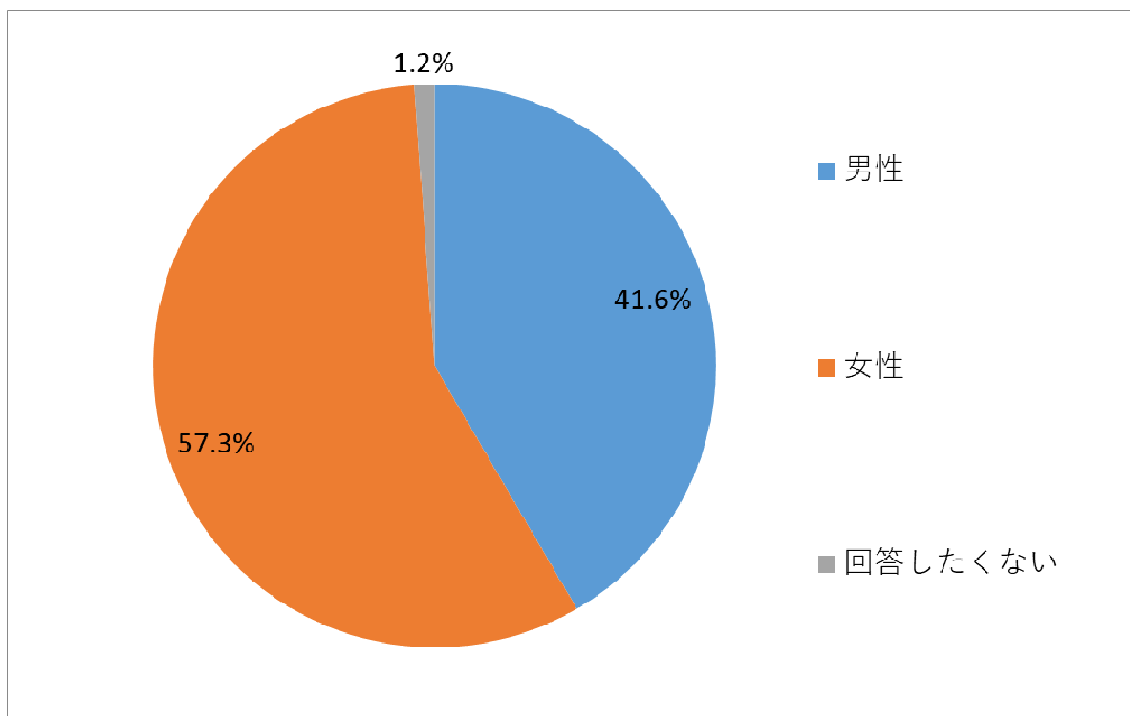
**回答率 76.6%**

※集計の百分率は小数第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

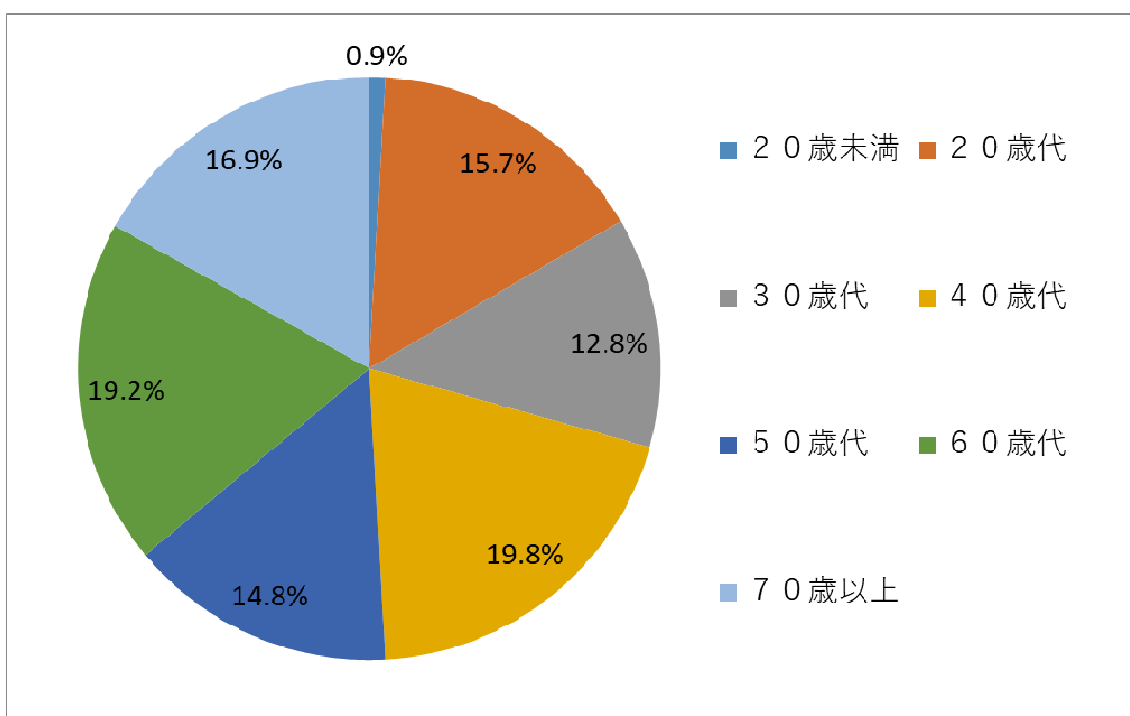
## 4 集計結果

あなたご自身についてお尋ねします。

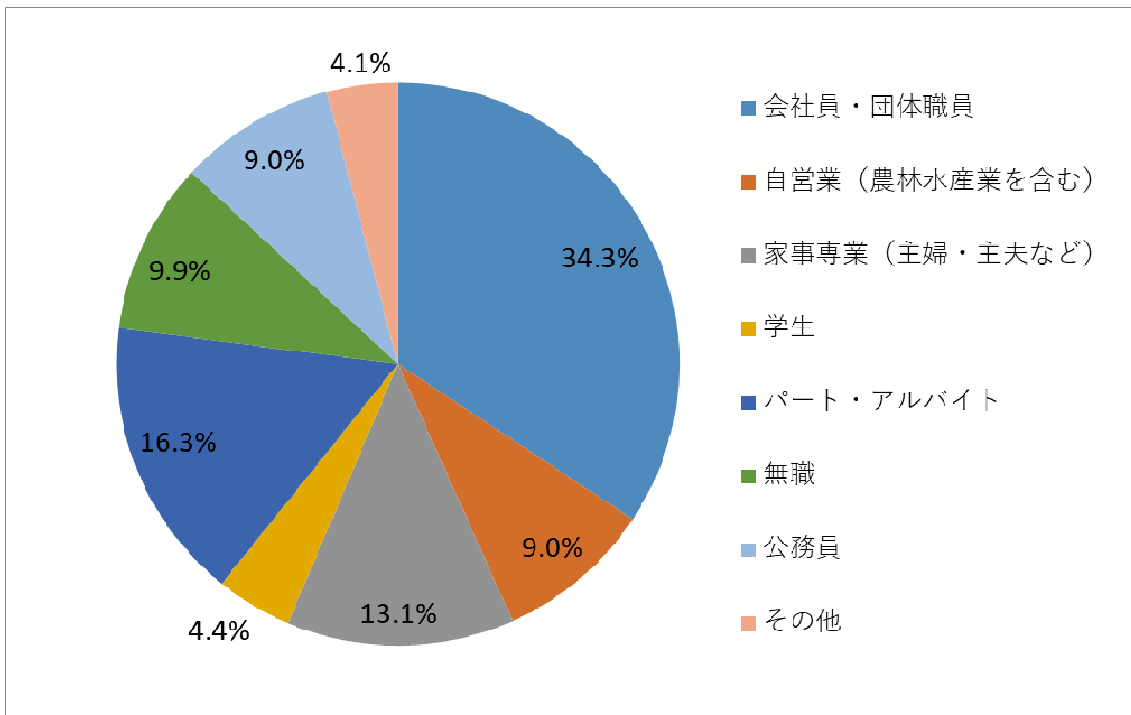
【F1】 あなたの性別はどちらですか。（回答者 3 4 4 名）



【F2】 あなたの年齢はおいくつですか。（回答者 3 4 4 名）



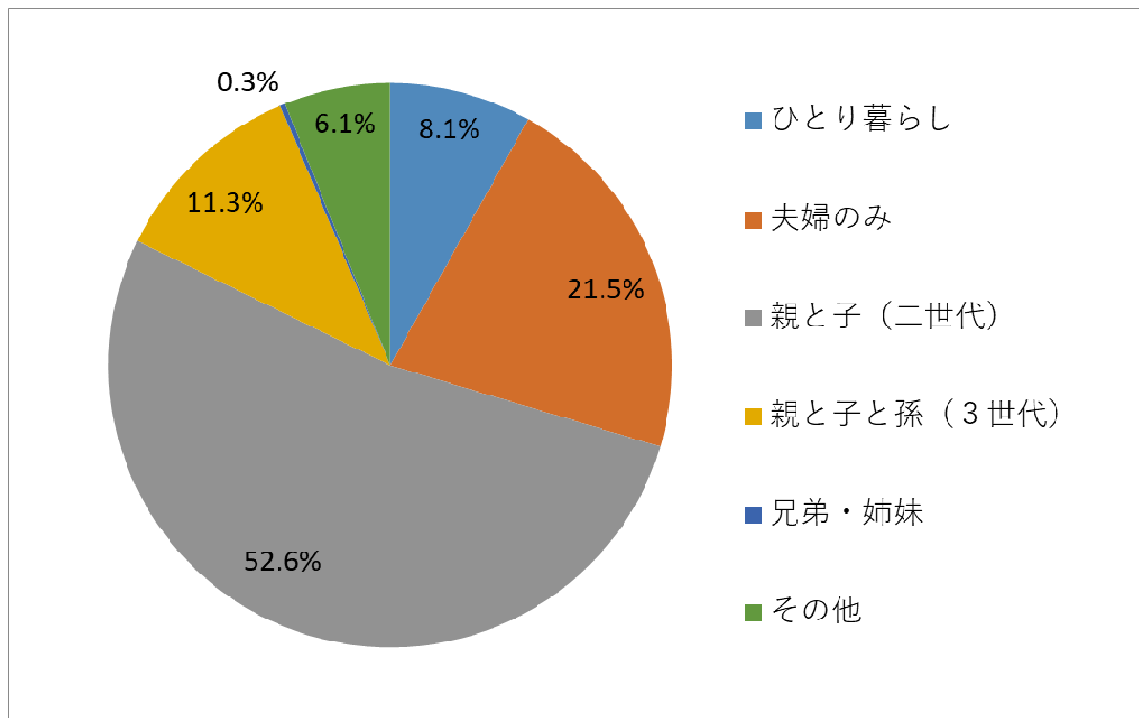
【F3】 あなたの職業をお尋ねします。（回答者 3 4 4 名）



【F4】 お住まいの地域をお尋ねします。（回答者 3 4 4 名）

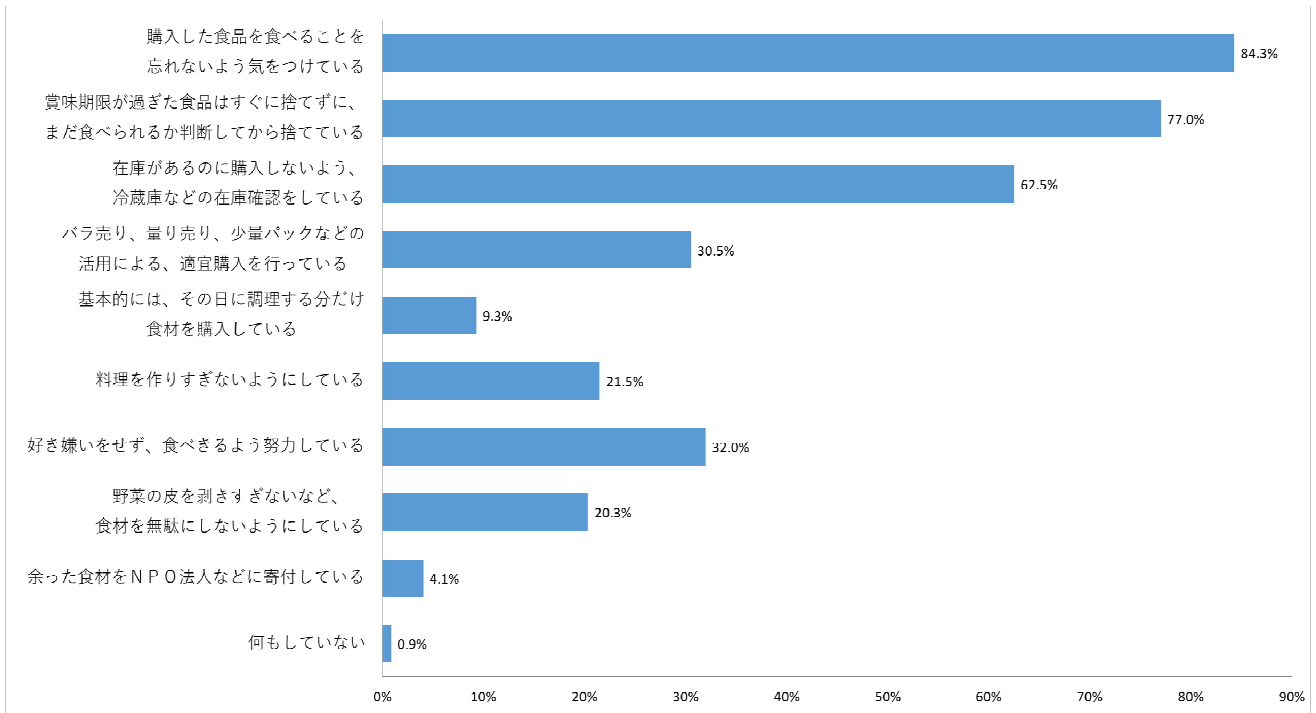
	n	%
甲府市	86	25.0%
富士吉田市	22	6.4%
都留市	10	2.9%
山梨市	10	2.9%
大月市	9	2.6%
韮崎市	13	3.8%
南アルプス市	39	11.3%
北杜市	17	4.9%
甲斐市	26	7.6%
笛吹市	24	7.0%
上野原市	10	2.9%
甲州市	6	1.7%
中央市	18	5.2%
西八代郡	4	1.2%
南巨摩郡	14	4.1%
中巨摩郡	10	2.9%
南都留郡	21	6.1%
北都留郡	5	1.5%

【F5】 あなたの家族構成をお尋ねします。（回答者 3 4 4 名）

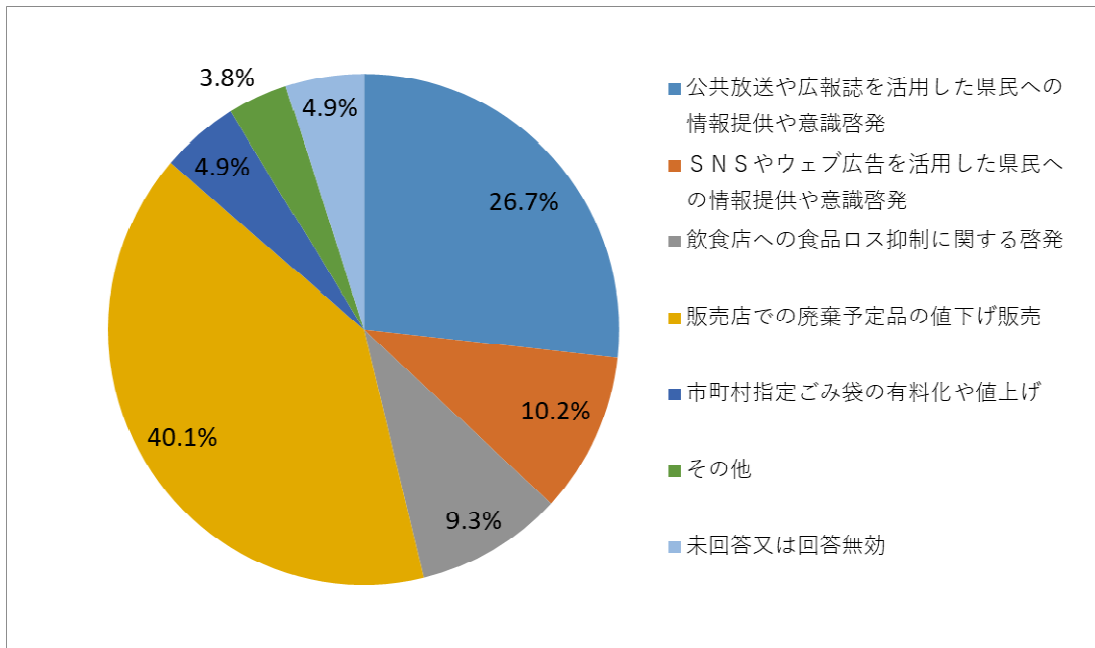


県では、令和7年度の生活系ごみの排出量を平成30年度の20万5千トンから18万2千トンに削減することを目標にしております。  
はじめに、ごみの発生を抑制（リデュース）するための取り組みについてお尋ねします。

【問1】 あなたの家庭（飲食店の食事を除く）で食品ロス（食べられるのに捨てられてしまう食品）を減らすために、すでに行っていることはありますか。あてはまるものを全てお答えください。（回答者：344名）



【問2】 ごみの発生を抑制するためには、どのような施策が最も有効と考えますか。一つ選んでお答えください。（回答者344名）

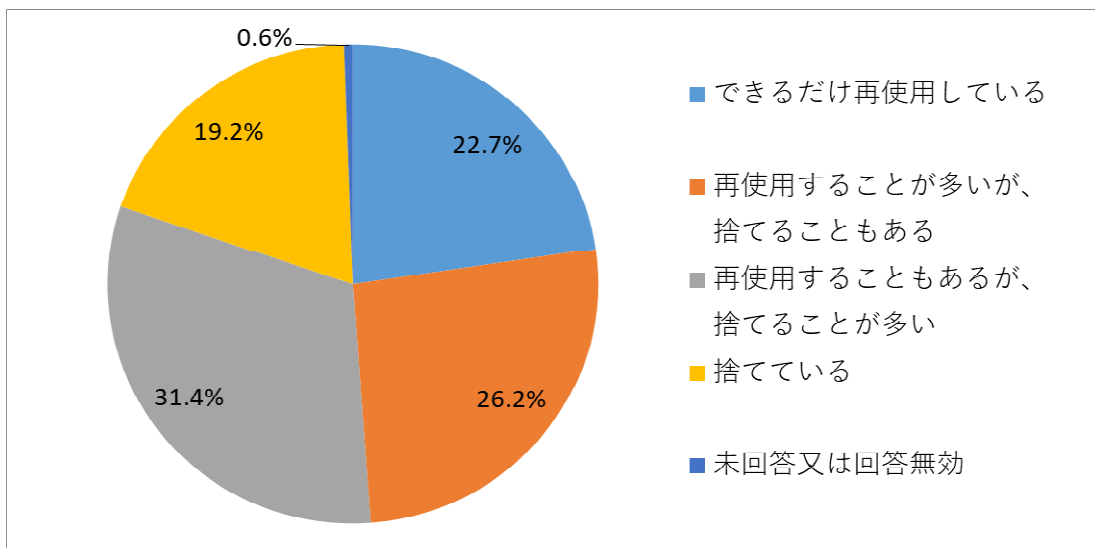


【その他の回答】

- ・資源ごみやプラスチックをいつでも回収できる場所やルートづくり
- ・企業に対する簡易包装の働きかけ、バラ売り・はかり売りの推進
- ・子どもの頃からの環境教育の推進 など

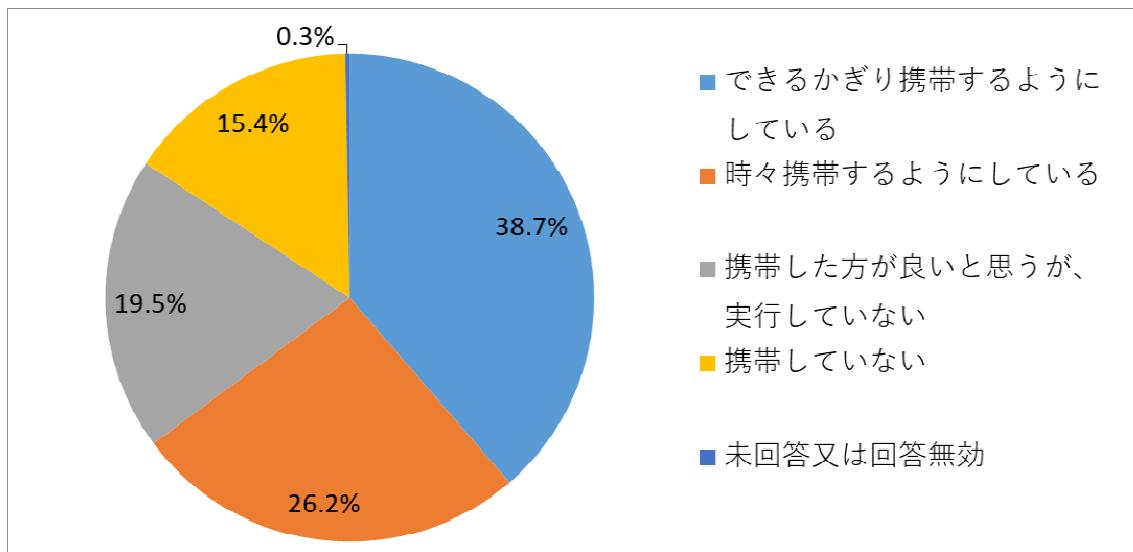
いったん使用された製品、部品、容器等を、形状を維持したまま再使用すること（リユース）は、リサイクルに比べ、発生する廃棄物等の量も少ないとされています。そこで、再使用（リユース）に関する取り組みについてお尋ねします。

【問3】 古着などは捨てずに、WEBにおけるフリマサイトやフリーマーケットへの出品、リサイクルショップでの売買など再使用していますか。一つ選んでお答えください。（回答者344名）

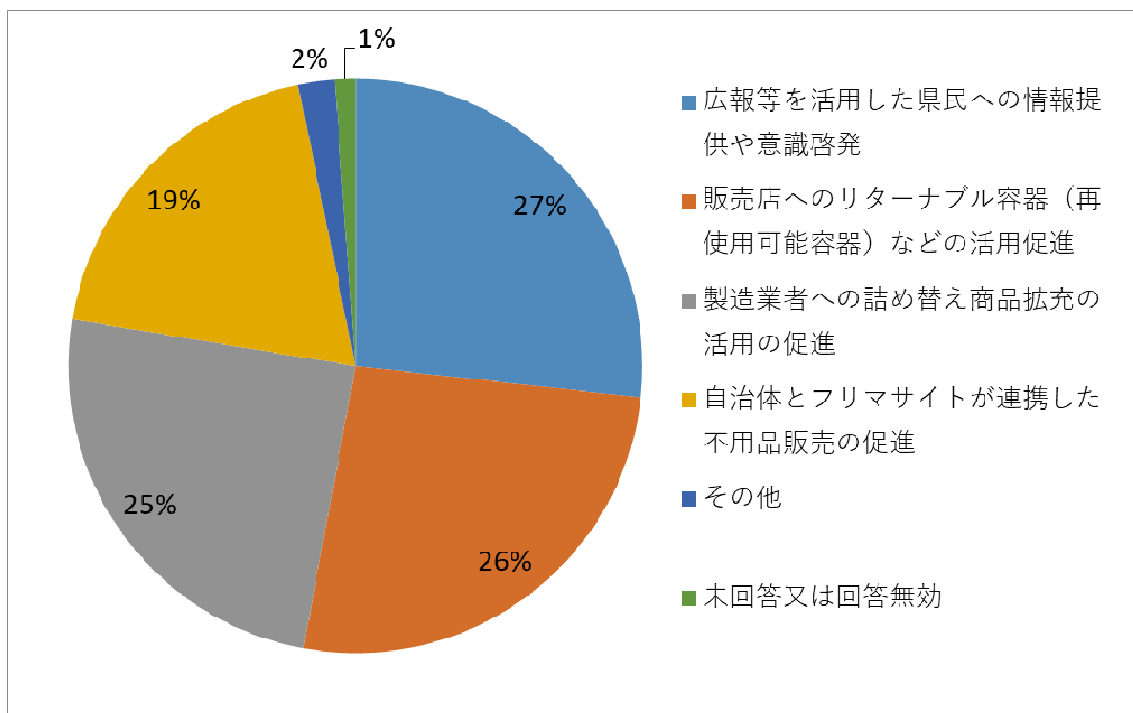


【問4】 マイボトルやご自分のはし（マイはし）など繰り返し使用できる製品を携帯して、使い捨て製品を使わないようにしていますか。一つ選んでお答えください。

（回答者 3 4 4 名）



【問5】 再使用の取り組みを促進するためには、どのような施策が最も有効だと考えますか一つ選んでお答えください。（回答者 3 4 4 名）

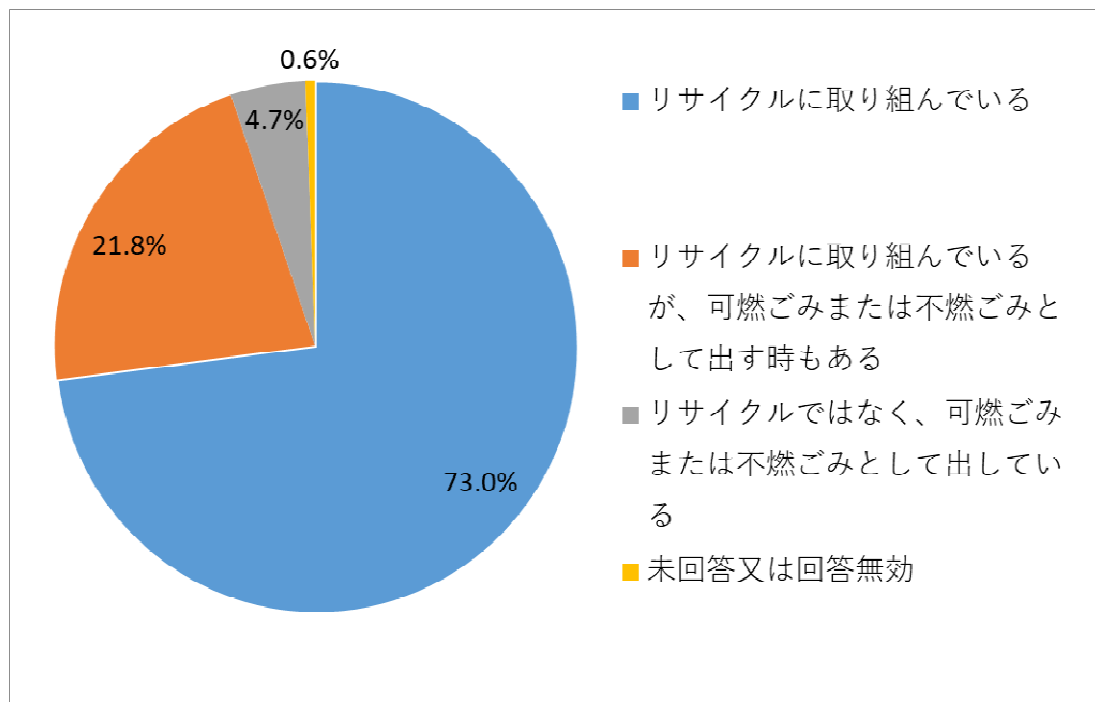


【その他の回答】

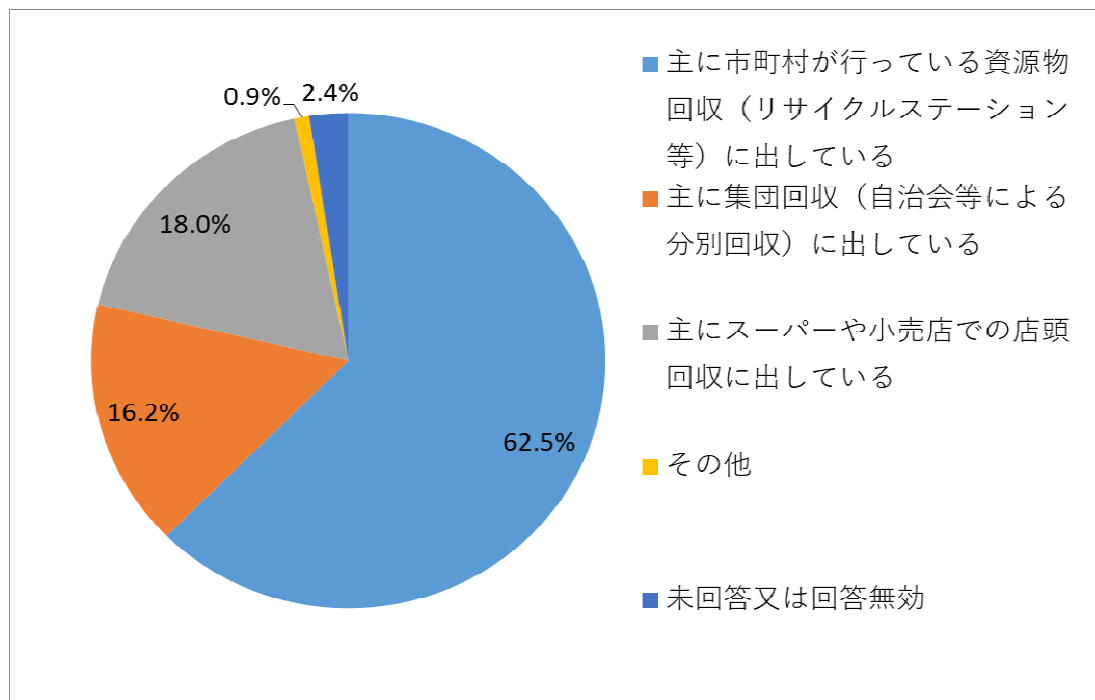
- ・リユースした方が安いという認識を広げていく
- ・手軽に再使用ができる場所の周知
- ・企業が再使用しやすい製品づくりに進んで取り組むための施策の実施（製品の認証制度や補助金制度の導入など） など

県では、令和7年度の生活系ごみを含む一般廃棄物のリサイクル率を平成30年度の17.0%から25.0%にすることを目標にしております。  
そこで、ごみの再資源化（リサイクル）に関する取り組みについてお尋ねします。

【問6】 ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなど資源物のリサイクルに取り組んでいますか。一つ選んでお答えください。（回答者344名）



【問7】 問6で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。具体的にどのように取り組んでいますか。最も多いものを一つ選んでお答えください。（回答者328名）

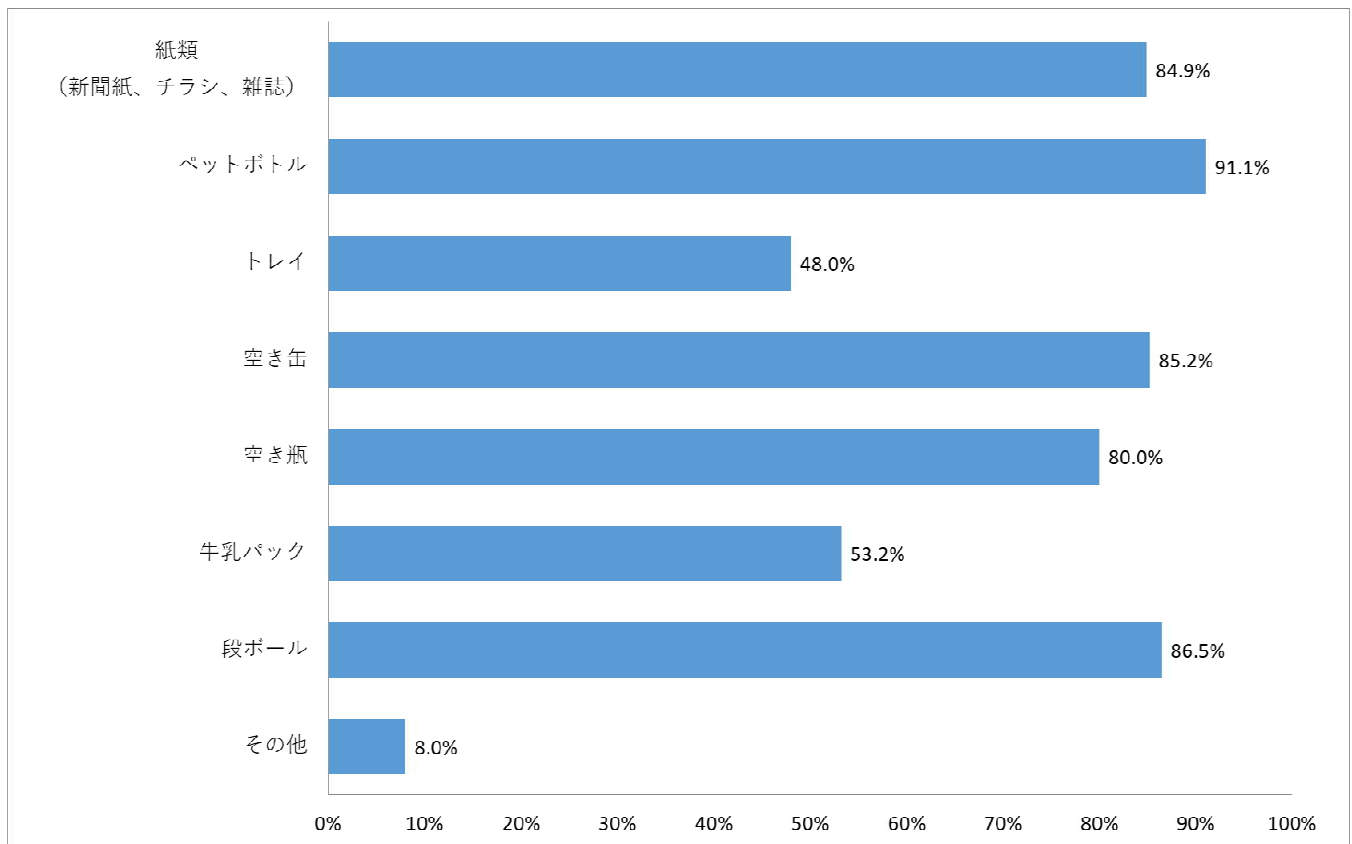


【その他の回答】

- ・生活している別荘地の規則に従っている



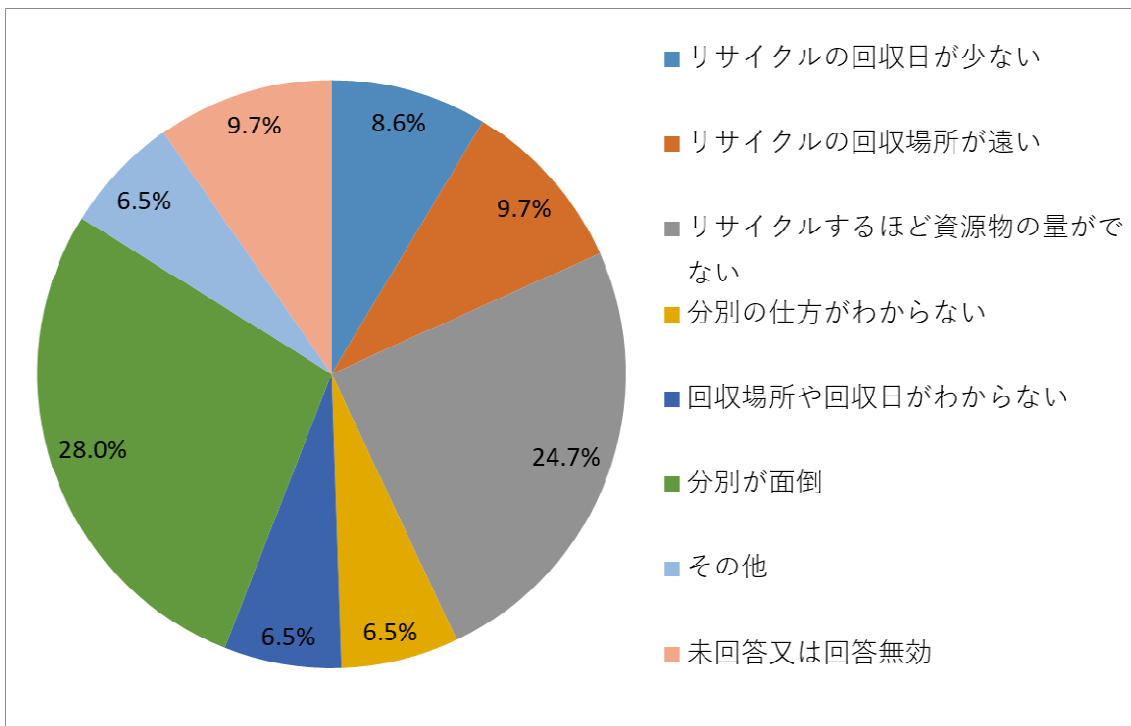
【問8】 問6で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。分別してリサイクルに出している資源物は何ですか。全て選んでお答えください。（回答者325名）



【その他の回答】

電池、金物、プラスチック、空箱、ミックスペーパー、ペットボトルの蓋  
衣類、陶器類、家電、電線、インクカートリッジ

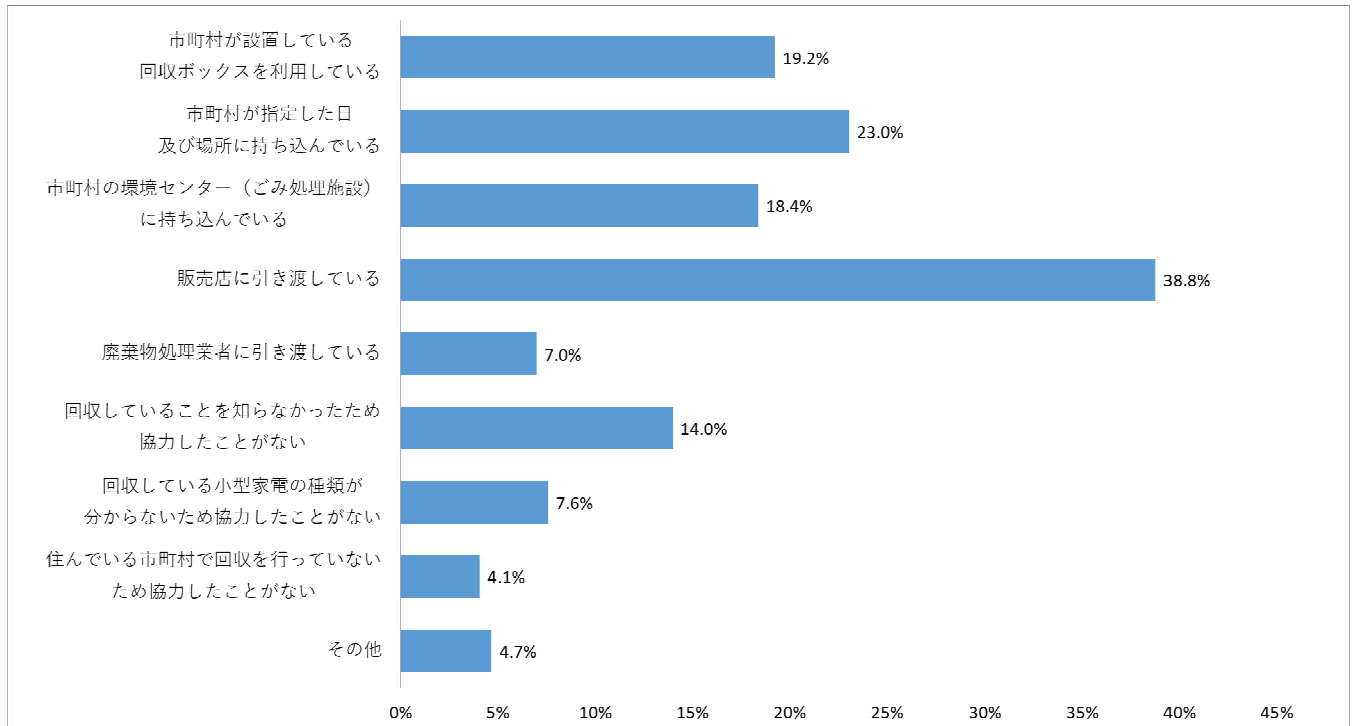
【問9】 問6で「2」または「3」と回答した方にお聞きします。リサイクルではなく、可燃ごみまたは不燃ごみとして出している理由で主なものを一つ選んでお答えください。（回答者93名）



【その他の回答】

- ・容器が汚れている場合は、可燃物としてごみの収集に出している
- ・家で再利用してから捨てている
- ・ペットボトルや牛乳パックを洗うための水がもったいない など

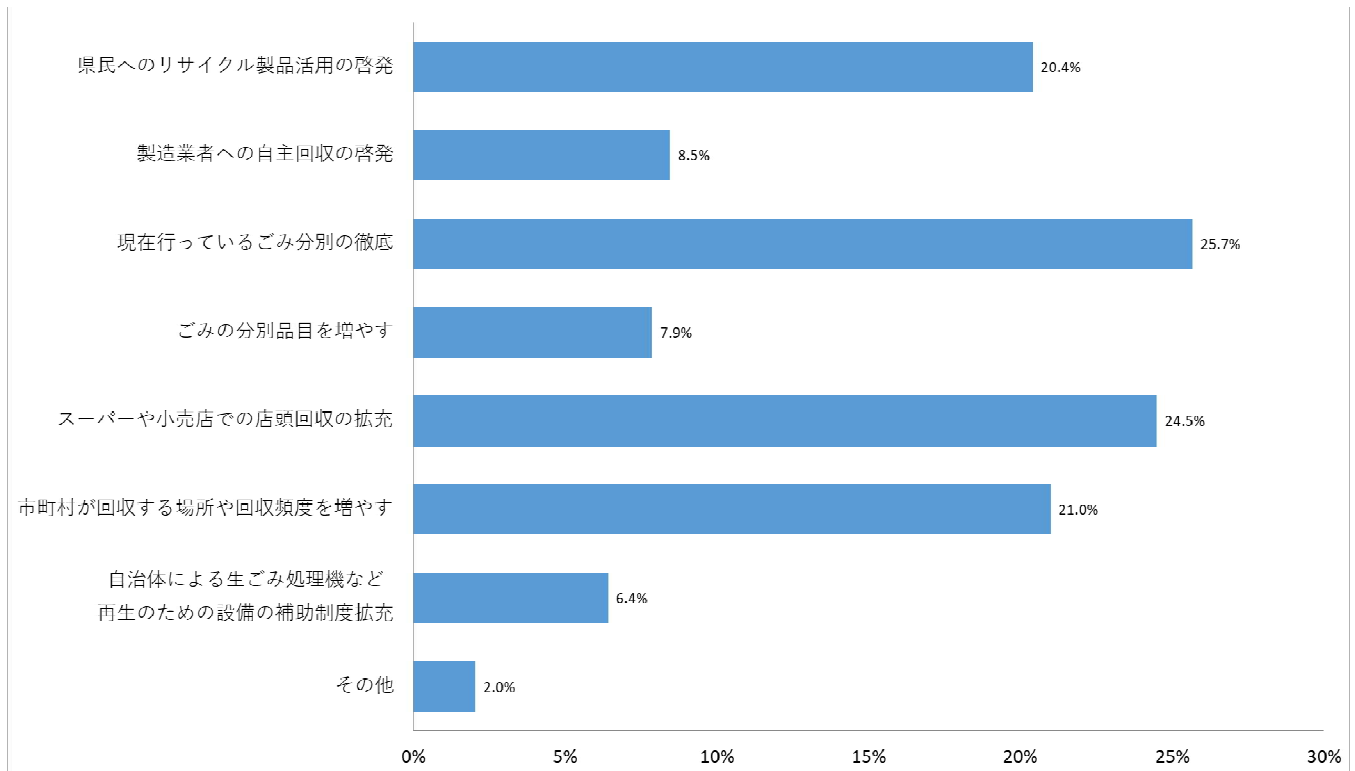
【問10】 携帯電話やデジタルカメラなどの小型家電には有用な金属などが含まれており、多くの市町村で小型家電のリサイクルの取り組みが行われているところです。小型家電の廃棄はどのように行っていますか。あてはまるものを全てお答えください。（回答者343名）



【その他の回答】

- ・処分せずに家で保管している
- ・フリーマーケットやオークションで販売している など

【問1 1】 リサイクルの取り組みを促進するためには、どのような施策が最も有効だと考えますか。あてはまるものを全てお答えください。（回答者 3 4 3 名）



【その他の回答】

- ・市町村による紙類、プラスチック製品の回収の推進
- ・県民の為のフリマ・オークション活動の実施
- ・小～高校までの制服や体操服をリサイクルする体制づくり
- ・リサイクルしやすい製品の導入
- ・アップサイクルの取組の促進
- ・自治体のブロック毎にリサイクルステーションを設置する など

市町村または地区のごみ収集に関することについてお尋ねします。

【問12】 市町村または地区のごみ収集に関し困っていることや工夫してほしいことがありますしたら、回答用紙へご自由にご意見をお書きください。(回答者102名)

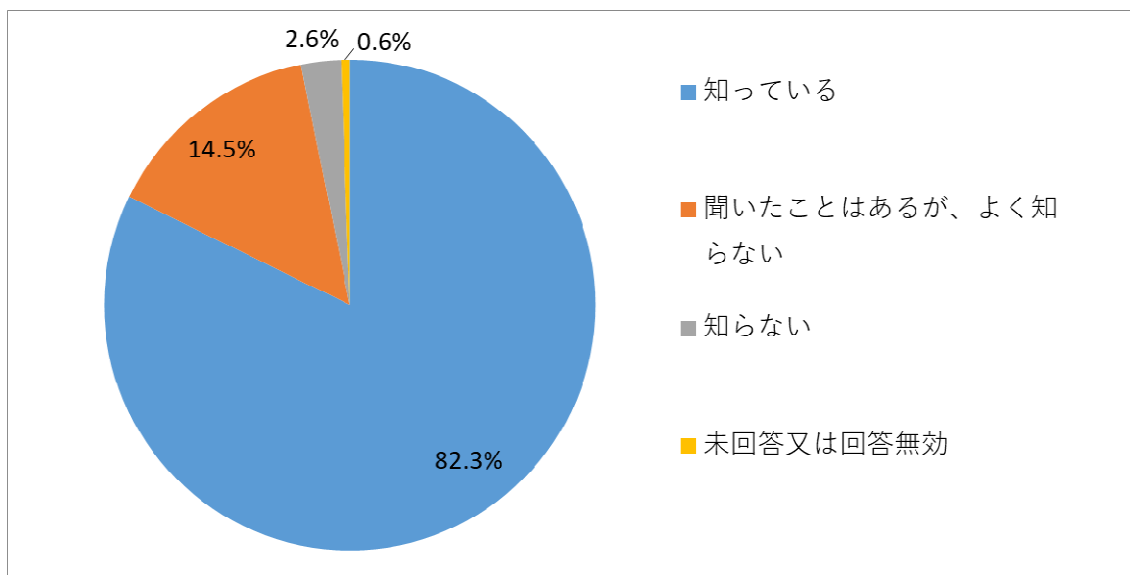
【回答内容】

- ◎資源ごみ（有価物）、粗大ごみの回収日が少ないので、増やしてほしい
  - ◎土日や祝日でもごみを回収してほしい
    - ・ごみの回収の時間が一定ではない時があるので、時間を守ってほしい
    - ・充電式の電池（電動自転車のバッテリーなど）を捨てる場所がなくて困っている
    - ・ごみ収集場所に乾電池回収ボックスがあるが、頻繁に回収されている様子がなく、いつも大量に溜まっているので液漏れの危険がある
    - ・ごみの回収の際にビニール袋を使うのではなく、専用のカゴを使って収集してほしい
  - ◎カラスやネコがごみ捨て場に入らないようにしてほしい
    - ・行政でプラスチックの回収をしてほしい
  - ◎自治会のルールを守らない人がいる
  - ◎地域に生活している外国人や組に入っていない人にも分別方法など徹底してほしい
  - ◎ごみ袋が破けやすいので、もう少し頑丈にほしい
    - ・指定ごみ袋の販売先が1つしかないので、複数の店舗、大型店へおいて欲しい
    - ・指定ごみ袋の大きさの種類を増やしてほしい（一人暮らし用の小さいごみ袋の導入など）
    - ・地区の収集場所が遠いため、高齢者になった時不安である
  - ◎分別の仕方をもっとわかりやすくしてほしい
    - ・リサイクルをしたら商店街の割引券や粗品などがもらえるようにするとよいと思う
- など

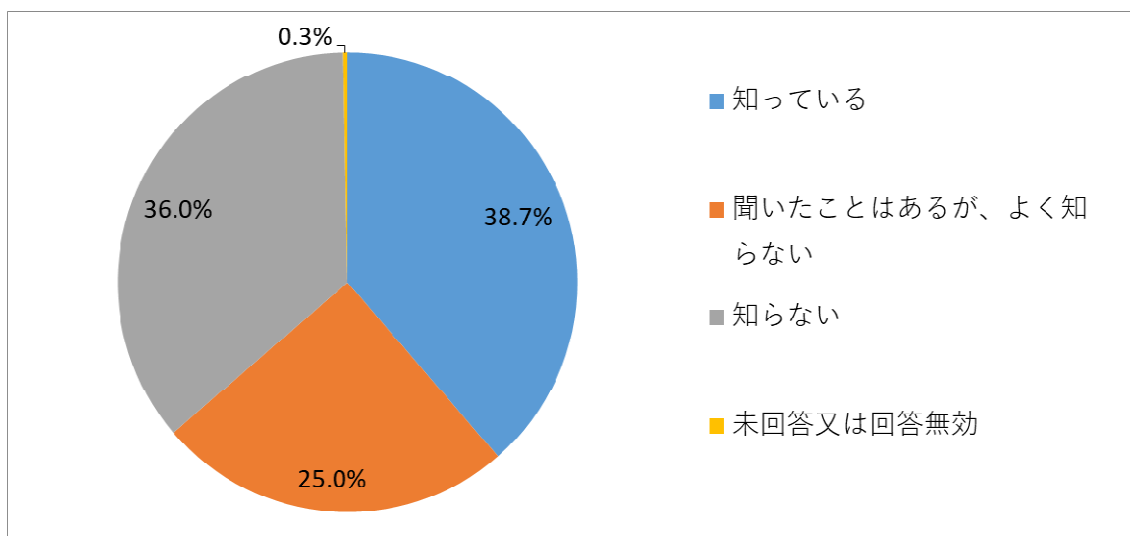
◎は複数の回答者から同様の内容で回答があったもの

世界中で海に流出するプラスチックごみの量は年間 800 万トンと言われ、2050 年には海洋プラスチックごみの量が海洋中の魚の量を上回ると予測されています。そこで、プラスチックごみに関する取り組みについてお尋ねします。

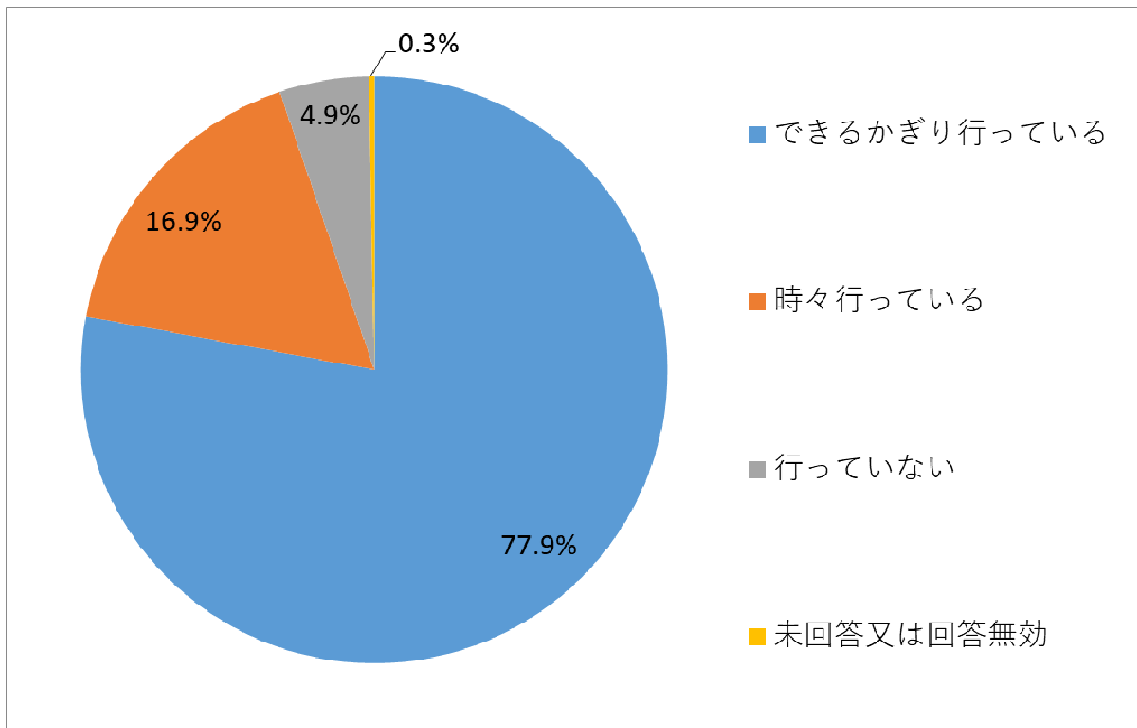
【問 1 3】 ポイ捨てや風に飛ばされたプラスチックごみが、河川を通じて海へ流出していることを知っていますか。(回答者 3 4 4 名)



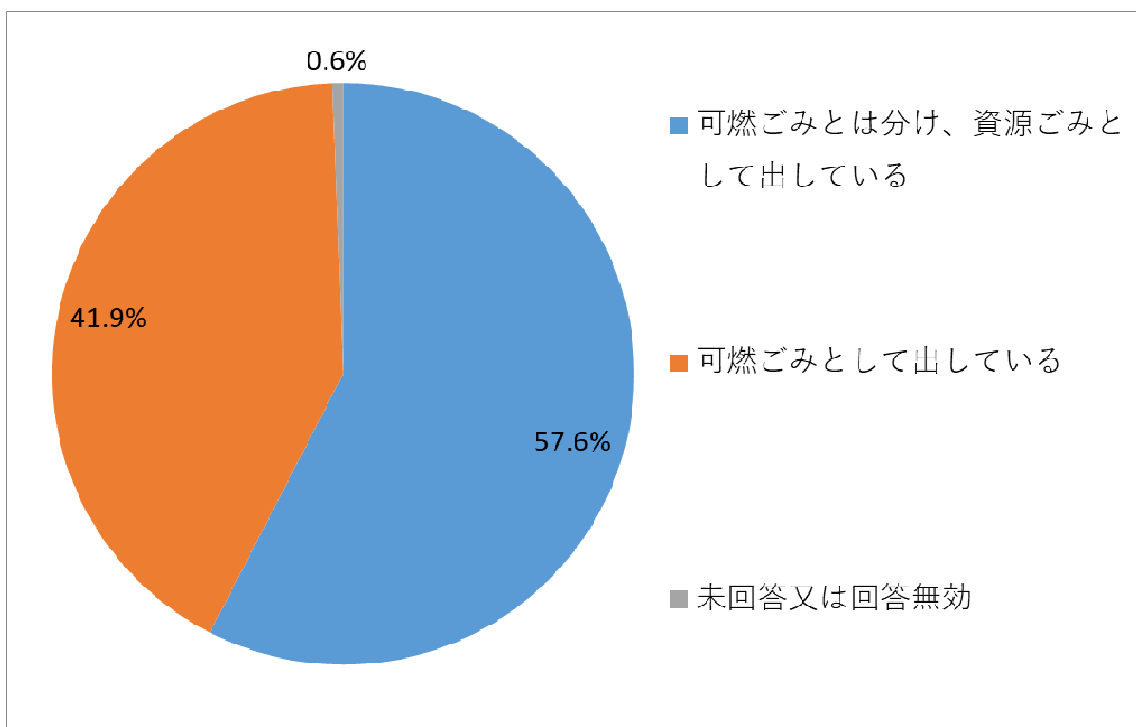
【問 1 4】 山梨県内の河川や湖沼でも、マイクロプラスチック（5mm以下の微細なプラスチック片）が確認されていることを知っていますか。(回答者 3 4 4 名)



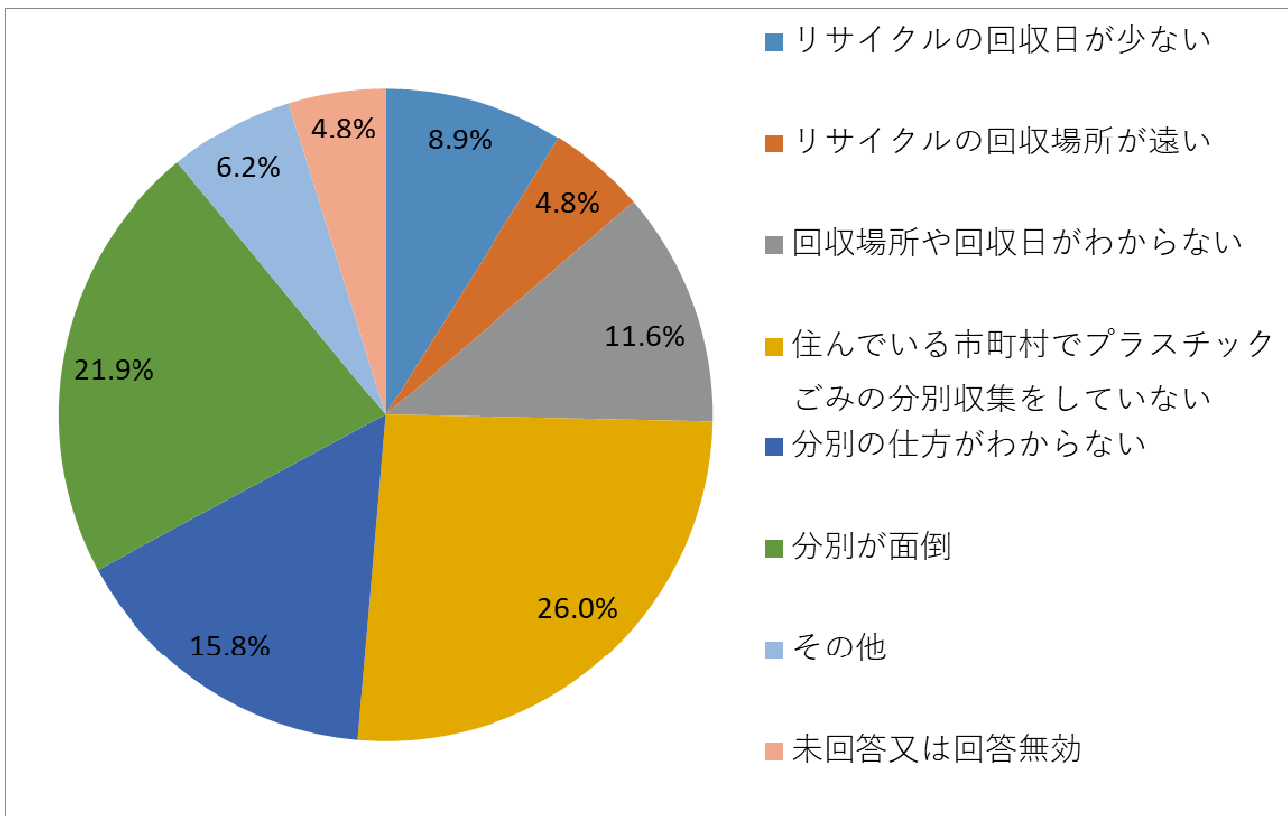
【問15】 プラスチックごみを減らすために、買い物時のマイバッグの持参や、コンビニ等で使い捨てプラスチック使用製品の提供を断ったりしていますか。一つ選んでお答えください。（回答者344名）



【問16】 ペットボトルやトレイ以外の容器包装プラスチックごみ（例えば、ペットボトルのラベルやお菓子・冷凍食品の袋、洗剤のボトル等）はどのように捨てていますか。一つ選んでお答えください。（回答者344名）



【問17】 問16で「2」と回答した方にお聞きします。資源ごみではなく、可燃ごみとして出している理由で主なものを一つ選んでお答えください。（回答者146名）



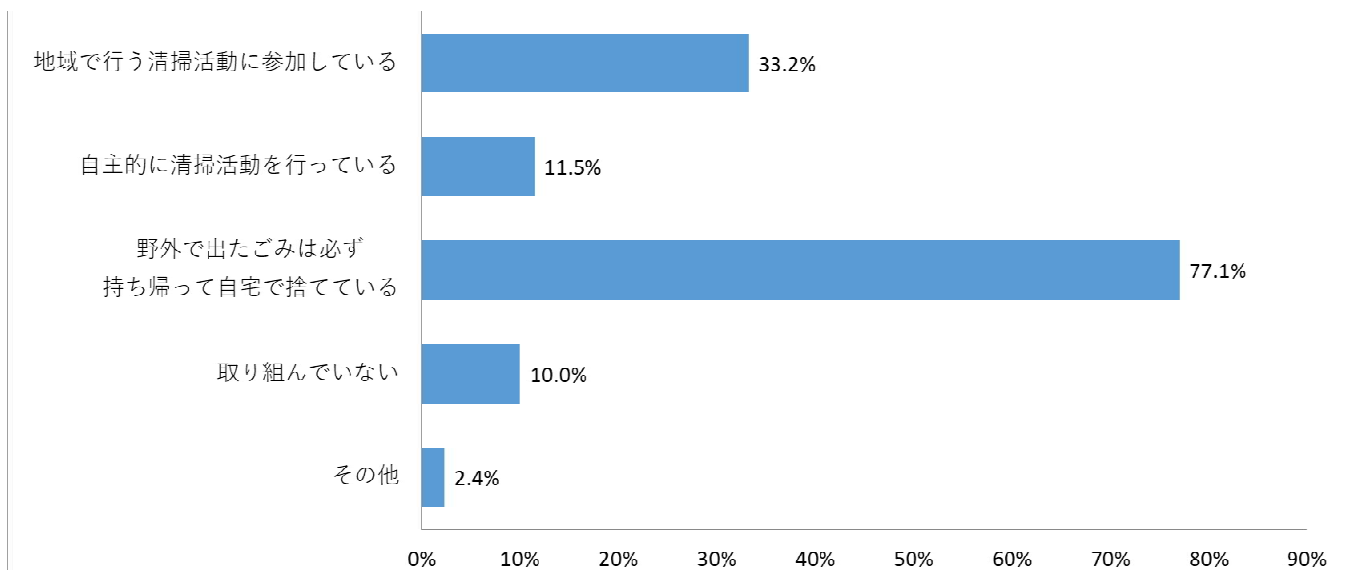
【その他の回答】

- ・家の中に資源ごみを保管する場所がない
- ・可燃ごみで出してよいと思っていた
- ・収集日と収集場所が遠いため可燃ごみでだしている
- ・ペットボトルについてプラや、スナックが菓子等のベタベタしたプラはそのまま可燃ごみとして出すようにしている など



【問18】 プラスチックごみの海洋流出の要因とされている散乱ごみへの対策で取り組んでいることはありますか。あてはまるものを全てお答えください。

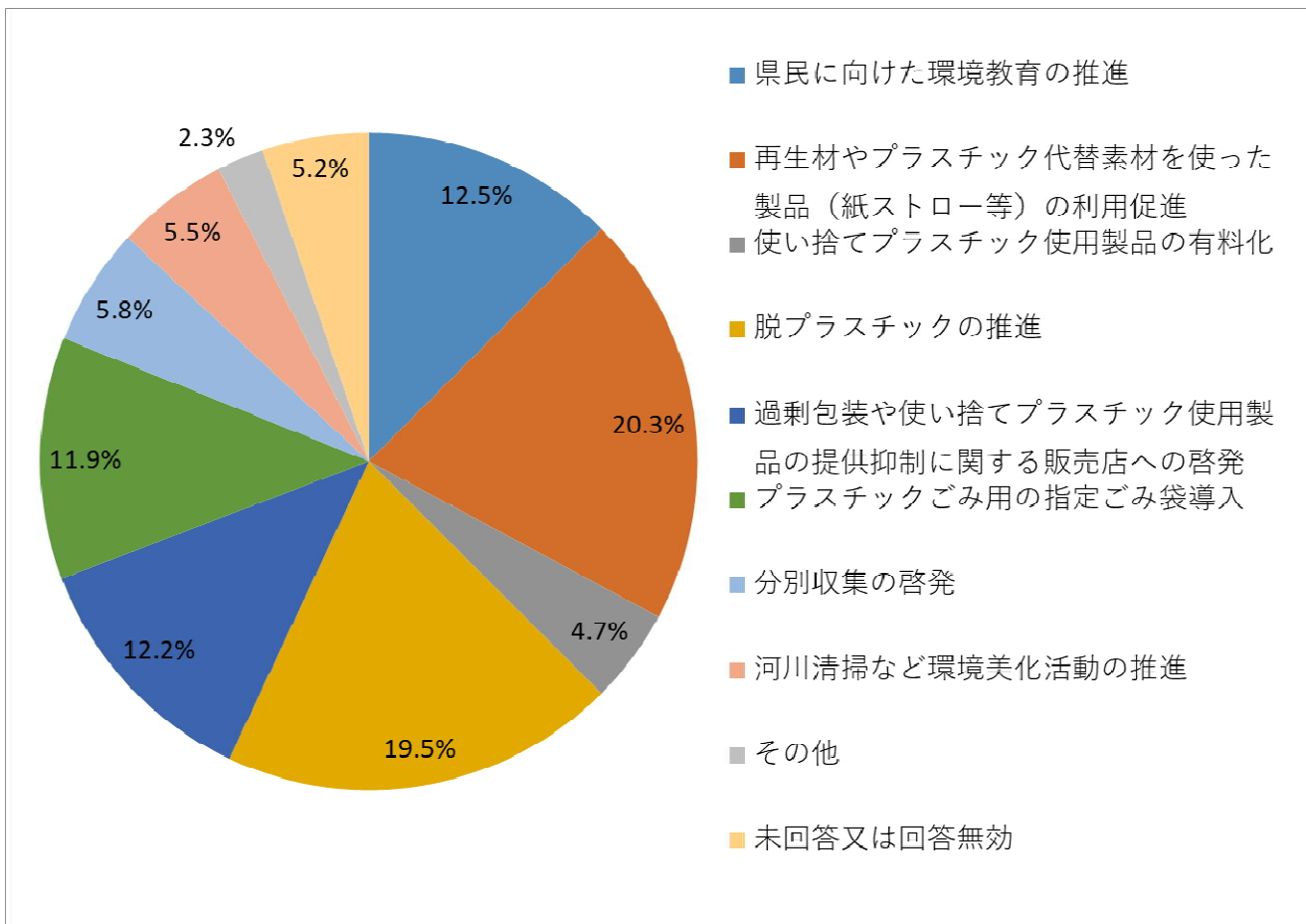
(回答者340名)



【その他の回答】

- ・海ごみゼロをテーマに大学で研究したものを冊子にまとめ、県内の小学校高学年への配布や県内施設への配置をした
- ・ペットボトルのラベル、菓子の袋、冷凍食品の袋がプラごみという事は知らなかった など

【問19】 プラスチックごみの海洋流出を防ぐため、どのような施策が最も有効だと考えますか。一つ選んでお答えください。（回答者344名）



【その他の回答】

- ・ 不法投棄の厳罰化
- ・ 子どもへの教育として、学校の中で資源ごみやプラスチックを分別していく習慣をつける
- ・ 販売店に対する啓発
- ・ きちんごみを収集に出すということを徹底するように案内する など